

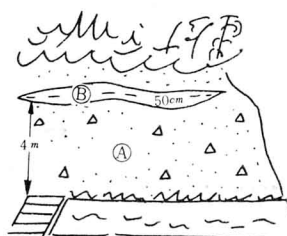
安達太良小学校

1、地層の観察

- (1) 観察する場所
グラウンド西側のがけ
- (2) がけから離れて地層全体を観察する。



- ① 地層の全体が見通せるよう、グラウンドに立って、がけの全景をスケッチする。
- ② 地層の重なり方、地層の色や厚さなど気付いたことを書き入れる。
- ③ 学校わきの小高い高台は、茶かっ色の層理の発達しない塊状のロームからなるA層が積み重なってできていることを理解する。



部分的にうすい黒っぽい腐植性のB層をはさんでいる。

- (3) 地層に近づいて、その特徴を観察させる。

A層は無層理で茶色をしたロームで、雨など降って水分を含むとべとべとなる性質をもっています。このロームは安達太良火山の活動で噴出した火山灰が西風に運ばれ、丁度、雪が降りつもるようにつもってできた第四紀のローム層です。

B層は厚い所で50cmほどの黒っぽい地層で、腐植性の土じょうからできており、A層にはさまるよう分布しています。